

2025 年 6 月 19 日

報道関係各位

GMO ペイメントゲートウェイ株式会社

**国内 PSP 初、「fincode byGMO」が MCP 対応、
AI 時代における最適な決済プラットフォームへ
～AI エージェントを活用した、決済の組み込み・利用が可能に～**

GMO インターネットグループにおいて、総合的な決済関連サービス及び金融関連サービスを展開する GMO ペイメントゲートウェイ株式会社（東証プライム市場：証券コード 3769、代表取締役社長：相浦 一成 以下、GMO-PG）は、国内の決済サービスプロバイダ（PSP）として初めて^(※1)、連結会社の GMO イプシロン株式会社（代表取締役社長：村上 知行）が提供するスタートアップが成功するためのオンライン決済インフラ「fincode（フィンコード） byGMO」を、「MCP（Model Context Protocol）」に対応したことをお知らせします。

これにより「fincode byGMO」は、AI エージェントとの連携が可能となり、AI との自然な対話を通じて決済機能の実装や操作が行えるようになります。まずは、2025 年 6 月 19 日（木）より開発者評価版の提供を開始し、利用検証にご協力いただける企業・開発者の皆様を募集します。ご関心をお持ちの事業者様は、「開発者評価版利用に関するお問い合わせ先」までご連絡ください。

（※1）日本市場を主なサービス対象とする PSP として初、GMO-PG 調べ。



【背景と目的】

生成 AI の技術進展により、業務や開発の現場でも AI を活用した支援ツールの導入が進んでいます。開発情報の取得・操作では、ドキュメント検索やコマンド・パラメーターを手動で操作する従来の手法から、自然言語で AI と対話しながら開発情報を得て活用する方法が広まりつつあります。こうした環境では、AI エージェントが人間の言葉や意図を汲み取り、開発プロセス・処理を仲介する、新たな開発スタイルが注目されています。

このような潮流の中、GMO-PG では、AI エージェントとの自然言語による対話を通じて決済機能を活用できる仕組みの開発を進めており、このたび国内の PSP として初めて、「fincode byGMO」の MCP 対応を実現しました。「fincode byGMO」はこれまでも、シンプルな API 設計や豊富な SDK^(※2)、多彩な決済手段を備え、成長企業のスピーディで柔軟かつ直感的な実装を支えてきました。このたびの MCP 対応を皮切りに、AI エージェント時代に最適な決済プラットフォームという位置づけを目指し、AI 時代に適合した機能強化および AI エージェント企業との連携を重ねてまいります。

(※2) Software Development Kit の略。「fincode byGMO」では API 組み込みを容易にするライブラリを提供しています。

【MCP 対応の概要】

MCP とは、AI エージェントが外部サービスの仕様を理解し、適切なリクエストを生成・実行するための共通規格です。このたびの MCP 対応では、「fincode byGMO」の組み込み・利用において、AI との対話で以下を実現します。

1. 開発ドキュメント検索

例えば AI に「決済システムに定期課金を実装したい」と入力すると、MCP サーバーが仕様書や API リファレンスを含む「fincode byGMO」の開発ドキュメントを高速検索し、JSON 形式でツール定義を AI エージェントに返却します。これにより開発者は、利用する対話型 AI エージェントのチャット画面から技術情報を得られ、そのまま開発に着手できます。開発者の開発負荷を最小化するとともに、様々な機能を持つ「fincode byGMO」の、最適かつ安全な組み込みの実現につながります。

2. リダイレクト型決済 URL 作成

「1,000 円の決済 URL を作って」と入力すると、AI エージェントが「fincode byGMO」の API を実行しリダイレクト型決済 URL を即座に発行します。企業の営業担当や個人事業主といったノンエンジニアの方でも、日頃利用する AI との対話の流れで直感的に決済機能を構築できます。

【「fincode byGMO」について】(URL : <https://www.fincode.jp/>)

GMO-PG の連結会社 GMO イブシロン株式会社が提供する「fincode byGMO」は、スタートアップの成長に寄り添うオンライン決済インフラです。新サービスのローンチ前後に生じる決済領域の課題を解決だけでなく、事業フェーズの進展に伴い求められる拡張的な価値をシームレスに提供します。

【今後の展開】

GMO-PG は、AI 技術と決済インフラの融合を通じて、企業の成長とキャッシュレス社会の進展に貢献してまいります。引き続き国内外の AI 関連企業との連携を強化し、追加機能のリリースや事業提携を順次発表予定です。AI ネイティブ時代のナンバーワン PSP として今後も進化を続け、先進的な価値を提供してまいります。

【GMO ペイメントゲートウェイ株式会社について】

オンライン化・キャッシュレス化・DXなどを支援する決済を起点としたサービスを提供しています。年間決済処理金額は 20 兆円を超えており、オンライン総合決済サービスは EC 事業者や NHK・国税庁等の公的機関など 15 万店舗以上の加盟店に導入されています。

決済業界のリーディングカンパニーとして、オンライン総合決済サービス、対面領域での決済サービス、後払い・BNPL (Buy Now Pay Later)、金融機関・事業会社への BaaS 支援、海外の先端 FinTech 企業への戦略的投融資など、決済・金融技術で社会イノベーションを牽引し、持続可能な社会の実現と社会の進歩発展に貢献してまいります。(2025 年 3 月末時点、連結数値)

以上

【報道関係お問い合わせ先】

●GMO ペイメントゲートウェイ株式会社

企業価値創造戦略統括本部 広報部

TEL : 03-3464-0182

お問い合わせ :

<https://contact.gmo-pg.com/m?f=767>

●GMO インターネットグループ株式会社

グループ広報部 PR チーム 新野

TEL : 03-5456-2695

お問い合わせ :

<https://www.group.gmo/contact/press-inquiries/>**【開発者評価版利用に関するお問い合わせ先】**

●GMO ペイメントゲートウェイ株式会社

企業価値創造戦略統括本部 経営企画統括部

E-mail : nbc@gmo-pg.com**【サービスに関するお問い合わせ先】**

●GMO イブシロン株式会社

「fincode byGMO」サポートチーム

お問い合わせフォーム :

<https://dashboard.fincode.jp/contact/>**【GMO ペイメントゲートウェイ株式会社】(URL : <https://www.gmo-pg.com/>)**

会 社 名	GMO ペイメントゲートウェイ株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 3769)
所 在 地	東京都渋谷区道玄坂 1 丁目 2 番 3 号 渋谷フクラス
代 表 者	代表取締役社長 相浦 一成
事 業 内 容	■総合的な決済関連サービス及び金融関連サービス
資 本 金	133 億 23 百万円

【GMO インターネットグループ株式会社】(URL : <https://www.group.gmo/>)

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	持株会社 (グループ経営機能) ■グループの事業内容 インターネットインフラ事業 インターネットセキュリティ事業 インターネット広告事業 インターネット金融事業 暗号資産事業
資 本 金	50 億円

Copyright (C) 2025 GMO Payment Gateway, Inc. All Rights Reserved.